

取扱説明書



MINIMON MON800

Ultra-Compact Stereo Monitor Matrix Mixer with Talkback Mic

目次

法的放棄	3
限定保証	4
1. はじめに	5
1.1 ご使用の前に	5
2. MON800 クイックスタートの設定	6
3. 操作ユニットと接続	7
3.1 前面	7
3.2 後面	8
4. 使用例	9
4.1 MINIMON の録音への使用	9
5. オーディオ接続	10
5.1 ピンコードの接続	10
5.2 足踏みの接続	10
5.3 ヘッドフォンの接続	11
6. 技術仕様	12
7. MINI シリーズの他の商品	13

ありがとう

MINIMON MON800 をご信賴、購入して頂き、ありがとうございます。MINIMON MON800 は、柔軟性を実現するサウンドユニットで、音楽製作で各種の信号をコントロールします。MON800 をモニターセクションの少ないミキシングコンソールと合わせて使用することができ、又は完全に単独で使用できます。各スピーカーシステムを操作して聴音することにより、ご作品にあるミキシング問題を早期に気付くことができます。録音する音楽に最適なモニターシグナルを提供し、マイクをコマンドすることによって全体の録音時間を決められます。

JP 安全にお使いいただくために**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついていきます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となる

もののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれば装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外觀は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代

理店のみが行っています。
ディストリビューターとディ
ーラーは MUSIC GROUP の代理
人ではなく、あらゆる表現、
暗示された約束、説明等に
よって MUSIC GROUP を拘束す
る権利はまったくありませ
ん。この説明書は、著作権保
護されています。本取扱説
明書に記載された情報内容
は、MUSIC GROUP IP LTD. からの
書面による事前の許諾がない
限り、いかなる利用者也これ
を複製、使用、変更、送信、
頒布、入れ替え、工作するこ
とは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay,
P.O. Box 146, Road Town, Tortola,
British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と
MUSIC Group の限定保証に関する
概要については、オンライン上
www.music-group.com/warranty にて
詳細をご確認ください。

1. はじめに

この MON800 には、4 つの選択 / ミックス可能なステレオ入力を備えた入力セクションに加え、的確なレベルチェックを可能とする精密な 6 段階 LED メインステレオ出力メーターが装備されています。さらに、レベルコントローラーを備えたハイパワーフーン出力に加え、究極のモニタリングを可能とする独立レベルコントローラーを有した 3 つの選択可能ステレオスピーカー出力も装備しています。

優れた柔軟性を実現するミュート、ディムおよびモノ機能に加え、フェーズチェックも可能となっています。この MON800 には、さらに内蔵マイクと包括的なルーティングオプションを備えたトークバックセクションも用意しています。高品質なボット、自照式スイッチによって、長年に渡る信頼性を保証します。当社の超低ノイズなオーディオオペアンプが素晴らしいサウンドパフォーマンスを提供します。

MON800 で、十分な出力を確保しよう！

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

MON800 は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一包装ダンボールに損傷が見られた場合には、装置外面部の損傷もご確認ください。

- ◇ 装置が万一損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡ください。
- ◇ 本製品の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包を使用するようにしてください。
- ◇ 製品および梱包材などは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- ◇ 梱包材などの環境保護に適した廃棄を心がけてください

1.1.2 スタートアップ

MON800 の過熱を防ぐため、十分な換気の確保に留意し、装置を暖房などのそばに接地することはお避けください。

- ◇ 本機を損傷させる恐れがありますため、付属品となる電源コードの使用のみ、給電を行ってください。
- ◇ 本機の接続および操作は専門技術者が行なうようにしてください。接続中および接続後は、本機をお取り扱いになる方々に対して接地が十分に行なわれているように常時注意を払ってください。これを怠ると、放電などによりサウンド性能が悪化することがあります。

JP 2. MON800 クイックスタートの設定

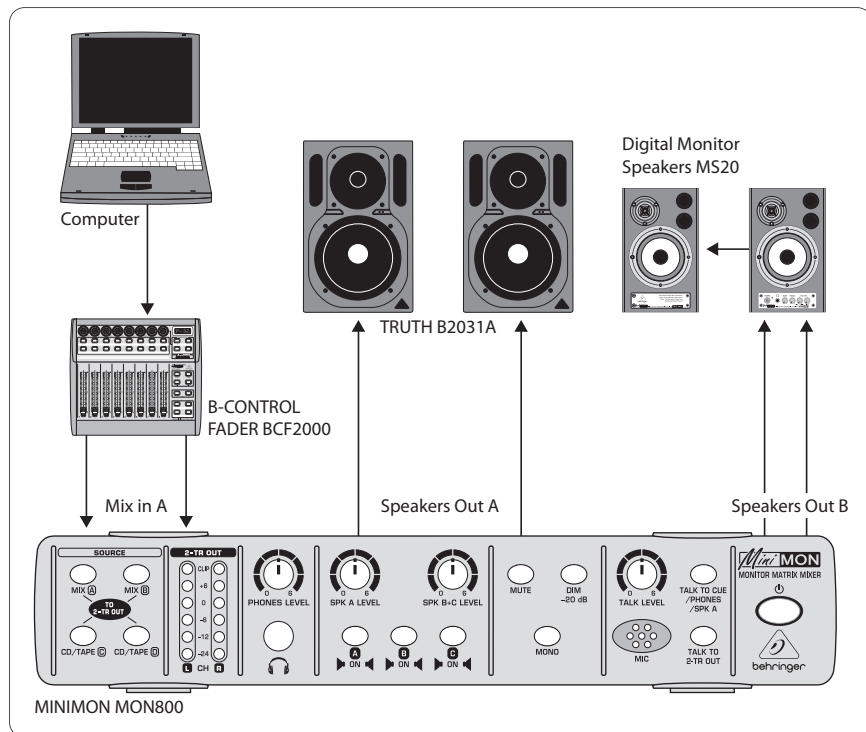


図 2.1: MON800 クイックスタートの設定

以下は、スタジオにおいて各スピーカーによってサウンドコントロールするよう MON800 の設定を説明します。

- ごコンピュータ又は任意のラインレベルソースを MON800 の MIX IN 接続部 A と接続してください。
- メインモニタースピーカーを SPEAKERS OUT A と、もう一つのスピーカーを出力端子 B と接続してください。
- ソースセクションの MIX A スイッチを押してください。
- 2-TR OUT LED チェーンによってレベルをコントロールします。CLIP LED が点灯する場合、レベルが -6dB ~ +6dB になるまで出力信号のレベルを下げてください。
- スイッチ A とスイッチ B によってスピーカー A とスピーカー B をオンにすることができます。スピーカー A をオンにして、SPK A LEVEL によって必要なレベルを選択します。

- スピーカー A をオフにし、スピーカー B をオンにして、SPK B + C LEVEL によってスピーカー A と合っているレベルを選択します。
- 二つのスピーカーの間で切換し、必要な時二つのスピーカーを合わせるようにレベルを調整します。
- 二つのスピーカーの間で切換することによって、二つの異なるサウンドシステムにおけるミキシングを直接比較することができます。

3. 操作ユニットと接続

3.1 前面

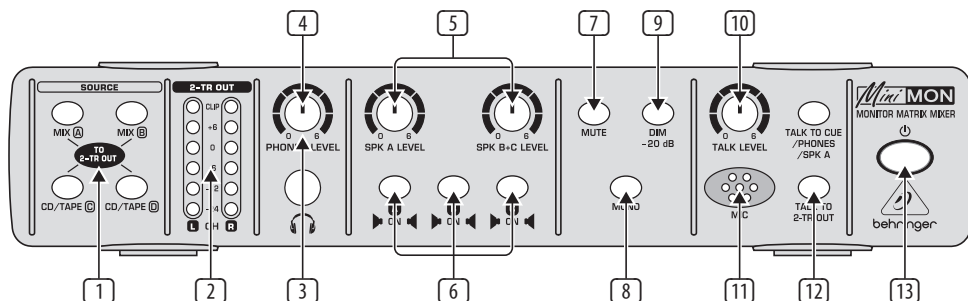


図 3.1 MON800 正の操作ユニット

- ① ソースセクションの四つのスイッチによって、多ければ四つのモニター又は録音する入力ソース (MIX A と B、CD/TAPE C と D) を選択することができます。必要に応じて同時に複数の入力ソースをスタートさせることができます。この場合、入力信号はミキシングされます。スタートされた各入力ソースは照光式スイッチによって表示されます。
- ② 二つの LED チェーンによって、2-TRACK OUT 出力端子の出力レベルをモニターすることができます。各チャンネルにはそれぞれ六つの LED が使用できます。CLIP-LED が点灯する場合、はずみが生じていることです。この場合、MON800 入力側シグナルソースのレベルを下げてください。
- ③ 6.3 ミリプラグのあるヘッドフォン (例えば BEHRINGER HP55000) をフォンジャックに差し込むことができます。この出力ジャックは後面の出力ジャック ⑮ と並列に接続されているので、同時に二つのヘッドフォンを使うことができます。
- ④ フォンレベルコントローラーによって、装置前面と後面にある二つのフォンジャックのレベルを調整することができます。
- ◆ 前 / 後のフォン出力レベルを単独に設定することはできません。
- ⑤ **SPK A LEVEL** によって **SPEAKERS OUT A** 出力端子 ⑮ のレベルを調整することができます。**SPK B + C LEVEL** によって B 出力と C 出力 ⑮ のレベルを調整することができます。
- ⑥ **A/B/C ON** スwitchによって、スピーカーA、B 及び C をオン又はオフすることができます。ミキシングの場合、サウンドの結果を確実にするように、最低でも 2 組の異なるスピーカー組においてサウンドを比較する必要があります。異なるサウンドシステムの間に切替する場合、まず対応しているスイッチを押して作動しているスピーカーをオフしてから、切替必要なスピーカーをオンにします。スピーカーをオンにすると、そのスイッチは照光します。
- ⑦ ミュートスイッチによって、全てのスピーカーとヘッドフォンの出力をミュートにすることができます。
- ⑧ モノスイッチによって、サウンドチャンネルをすべてモノに設定することができます。御ミキシングがモノとコンパチブルであるかをチェックするには、この機能を使用する必要があります。外部環境音とステレオミキシングの中にある Chorus, Phaser 及び Flanger のような各サウンド効果は、モノにて再生される時信号を失う場合があります。このようなフェーズ問題はモノスイッチによってよく解決できます。
- ⑨ ティムスイッチによって、サウンドチャンネルのレベルを -20dB まで下げることができます。この機能は、ミックスする時他人と話す必要があって、同時に録音をコントロールする必要がある場合に使用されます。
- ◆ 上記機能が使用されると、スイッチ ⑦ とスイッチ ⑨ は照光します。この二つのスイッチはは 2-TRACK OUT 出力側の信号に対して機能しません。
- ⑩ **TALK LEVEL** コントローラーによって、Talkback マイク感を調整します。
- ⑪ マイクの開口部の後に Talkback マイクがあります。録音装置を 2-TRACK OUT 出力端子に接続して、それからマイクに向けて話すようにします。そうすると、異なる録音を間違いないように、それぞれの録音に名付けることができます。このほかに、マイクによって音楽者と話すことができ、ご要望は録音中にヘッドフォンによって伝達されます。
- ⑫ **TALK TO CUE/PHONES/SPK A** と **TALK TO 2-TR OUT** 電鍵によって、Talkback マイクのルーティングを決めることができます。**TALK TO CUE/PHONES/SPK A** 電鍵によって、オ郭 C CUE OUT, PHONES, PH 及び **SPEAKERS OUT A** サウンドチャネルにて話すことができ、フィードバックを避けるようにティム機能が自動にスタートします。**TALK TO 2-TR OUT** 電鍵によって、御話を二つの 2-TRACK OUT 出力と接続された録音装置へ録音することができます。
- ◆ 話すときは、必要な電鍵を押したままにしてください。

- ⑬ ⏻ スイッチを通じて MINIMON MON800 をスタートさせます。スタートの後でスイッチはすぐさま亮起します。
- ◇ 注意、スイッチを通じて当機を閉鎖して機を完全に決して停電させないことができません。電源 ⏻ を分けて、必ず電源のプラグを奪い取らなければなりません。当機がインストールする時電源のプラグが

問題がないことを確保してもらいます。もし長い時間は当機を使わないならば、電源のプラグを奪い取るべきです。

3.2 後面

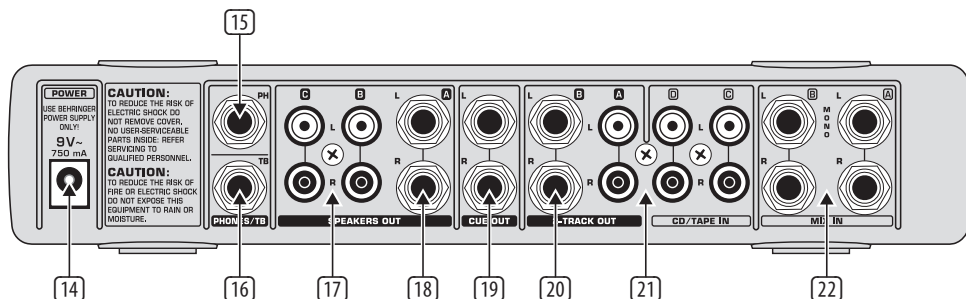


図 3.2. MON800 後の接続

- ⑭ 電源は 2 芯の **POWER** 接続コンセントに接続され、電源アダプタも付属されています。
- ◇ 本機を損傷しないように、付属アダプタ以外のものを使用しないでください。
- ⑮ **PH** によってもう一つのヘッドフォンを接続することができます。このヘッドフォンは装置前の ③ に接続するヘッドフォンと並列に接続されています。
- ⑯ **TB** ジャックは簡単なベダルの接続用です。そうすると、Talkback 電鍵 ⑫ (TALK TO CUE/PHONES/SPK A) をリモートコントロールして、話すとき手をあけておくことができます。
- ◇ 話すとき、必要な電鍵を押したままにしてください。
- ⑰ **SPEAKERS OUT** の接続端子 B と C に 2 組のスピーカーを接続することができます。2 組のスピーカー (B と C) のレベルは同時に調整されるので、出力端子 B に 1 組みのスピーカーを接続し、出力端子 C に一つの低音域スピーカーを接続することも可能です (第 4.1 章参照)。
- ⑱ **SPEAKERS OUT A** ジャックにメインサウンドスピーカーを接続します。
- ◇ スピーカーの出力部には、アクティブシステム又は受動スピーカー付きの外部アンプを接続することができます。
- ⑲ **CUE OUT** は標準以外の出力部を提供します。それによって MINIMON の信号を外部ヘッドフォンアンプ (例えば、BEHRINGER MINIAMP AMP800) といった他の装置に伝送することができます (第 4.1 章参考)。
- ◇ **CUE OUT** のレベルは **MON800** にて変えることはできません。
- ⑳ 二つの **2-TRACK OUT** は並列に接続されていて、同じ信号を送信します。録音装置の接続形式によってそれに応じる出力ジャックを選択してください。
- ㉑ **CD/TAPE IN** 端子 C と D にコンピュータ、CD/MD 及びテープレヤを接続します。
- ㉒ **MIX IN** ジャック A と B に、ミキシングコンソール、サウンドカードなどメインシグナルソースを接続してください。モノ信号の場合は、ジャック L に接続してください。

MON800 のシリーズナンバーは装置の底部に注記されています。

4. 使用例

MINIMON には、高価なミキシングコンソールにしかないサウンド機能を多種備えています。MINIMON は録音中における信号のコントロールと割当に最適です。MON800 は柔軟な機能を備えているとともに、簡単な拡声にも適しています。

4.1 MINIMON の録音への使用

MON800 の代表的な使用例は、コンピュータを介して音楽製作することです。この製作中に、楽器と歌いのサウンドを録音する必要があります。以下の図はこのような環境における代表例を表示します。

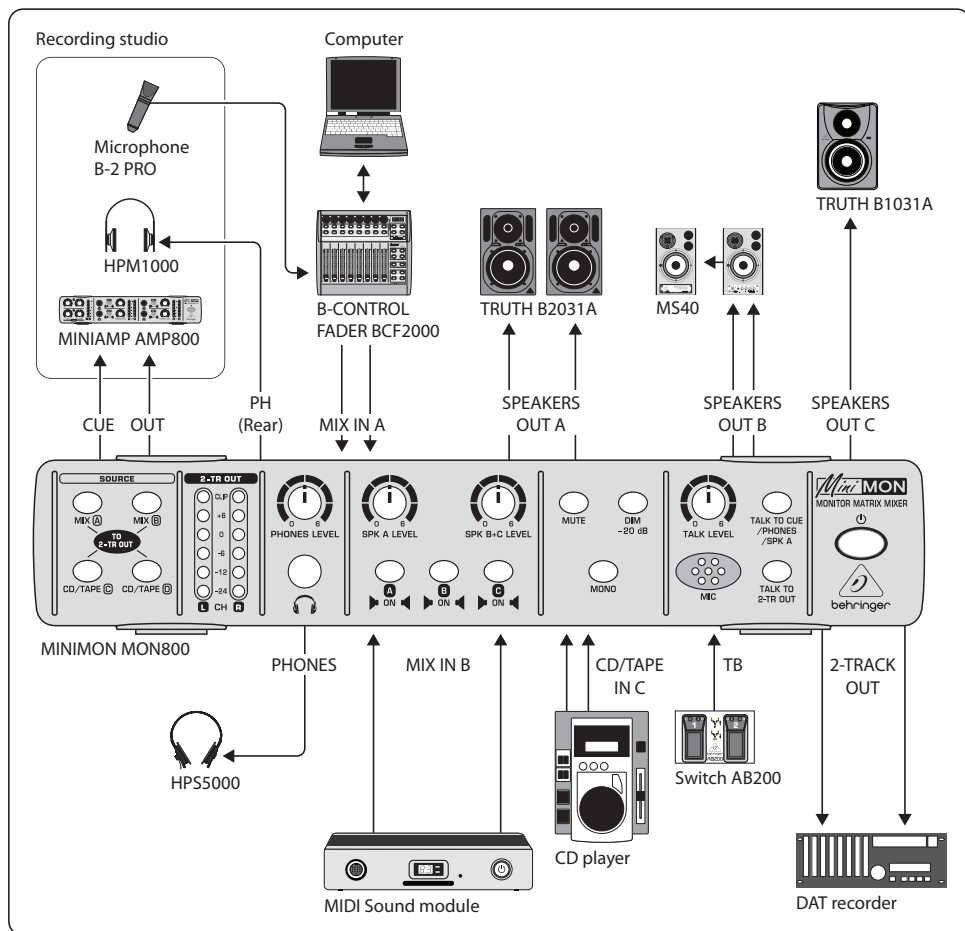


図 4.1: MON800 とコンピュータを介する代表的な録音環境

コンピュータを中心として、サウンドカードによって MIX IN A 又は B (2) 接続ジャックと接続されています。他のものは、MIDI とコンピュータの接続用サウンダーなどによって異なる接続形式で MON800 の対応している入力部に接続してください。他の装置 (CD, MD など) を CD/TAPE IN のプラグレセプタクル (2) に接続することをお勧めします。メインサウンドスピーカーを SPEAKERS OUT A プラグレセプタクル (18) に接続してください。第 2 組の付加スピーカーは出力部の B (17) に接続してください。、第 2 組のスピー

カーがローパワー装置としてミキシング質を評価できるようにローパワーにすることが普通です。この場合、出力部 B と C のレベルは同時に調整されているため、C (17) にベーススピーカーを接続することをお勧めします。

必要に応じて第 3 組みのスピーカーも接続できます。第 3 組みのスピーカーは、レベルを調整可能なタイプが望ましいです。そうすると、SPK LEVEL B+C コントロールの制限なしに単独でスピーカー C を設定できます。

- ◆ MINIMON の Speaker 出力部はラインレベルを使用しています。受動スピーカーシステムにはまたフロントエンドアンプを接続する必要があります。アクティブスピーカーはランプを内蔵してあるので直接に MINIMON の出力部と接続できます。

二つのヘッドフォンを ③ と ⑤ に接続することによって、ヘッドフォンによるミキシングチェックをし、音楽者の録音にモノシングを入れることができます。複数の音楽者に向けて録音をする場合、ヘッドフォンアンプ (例えば、BEHRINGER MINIAMP AMP800) を MINIMON の CUE OUT に接続してください。そうすると、各音楽者がヘッドフォンアンプにてそれぞれのヘッドフォンのレベルを独立的に調整することができます。

TB 端子 ⑩ に接続されたフットペダルを使ってトークバックマイクを起動させることができます。DAT や CD レコーダーのような録音機器は、端子にあわせてそれぞれ 2-TRACK OUT 出力 ⑳ に接続してください。

5. オーディオ接続

MON800 をご設定の中に整合させる配置はたくさんあります。各利用に応じて、異なる接続が必要となります。以下はどのような接続を必要であるかについて説明します。

5.1 ピンコードの接続

MINIMON を他の装置と共同で作動させるには、接続用の常用ピンコードが必要になります。このピンコードの両端にはそれぞれ 6.3 ミリのジャックプラグと端子プラグがあります。これらによって、MON800 の入 / 出力部は他の装置と接続されます。

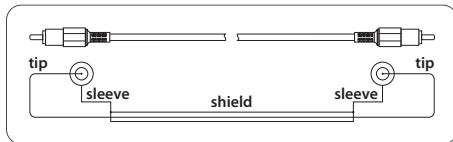


図 5.1: HiFi ピンコード

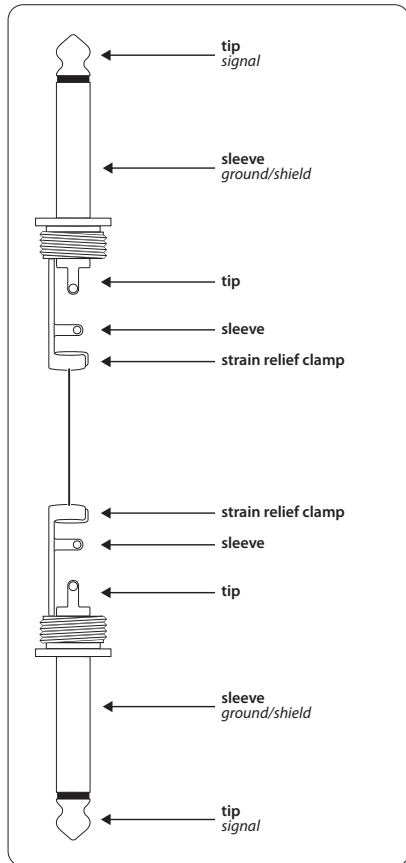


図 5.2: 非対称のピンコードとモノジャックプラグ

5.2 足踏みの接続

MINIMON にはペダル用の接続部が装備されています。この接続部によく使われているモノジャックプラグ付きのペダルを接続することができます。ペダルのプラグにはいろいろな仕様のものがあるので、以下の図を参照して、正しい仕様のプラグを使用するように必ず注意してください。

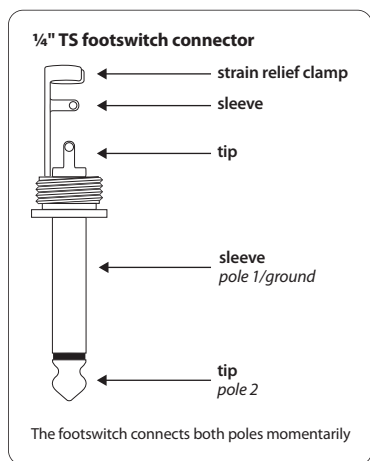


図 5.3: ペダルモノジャックプラグの構成

5.3 ヘッドフォンの接続

MINIMON にはヘッドフォンの接続部を二つ装備されています。この接続部によく使われている 6.3 ミリジャックプラグのあるステレオヘッドフォンを接続することができます。3.5 ミリジャックの接続については、適当なアダプタが必要になります。その構成は下図をご参照ください。

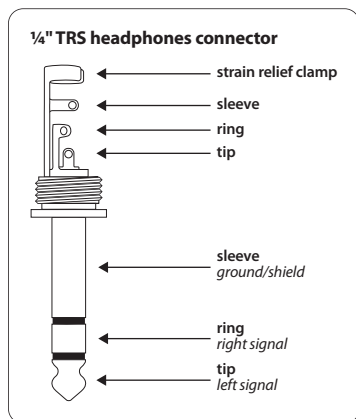


図 5.4: ヘッドフォンステレオジャックプラグの構成

6. 技術仕様

Mix In A + B

接続	6.3 ミリジャック、非対称
入力インピーダンス	約 10 k Ω 非対称 約 20 k Ω 対称
最大入力レベル	15 dBu

CD/Tape In C + D

接続	端子
入力インピーダンス	約 10 k Ω
最大入力レベル	15 dBu

2-Track Out A + B

接続	6.3 ミリジャック / 端子、 非対称
出力インピーダンス	約 150 k Ω (ジャック) 約 150 k Ω (端子)
最大出力レベル	15 dBu

Cue Out

接続	6.3 ミリジャック、非対称
出力インピーダンス	最小 150 Ω
最大出力レベル	15 dBu

Phones

接続	6.3 ミリステレオジャック (装置の前面と後面)
出力インピーダンス	最小 100 Ω
最大出力レベル	10 dBu / 100 Ω (70 mW)

Speakers Out A

接続	6.3 ミリジャック、非対称
出力インピーダンス	最小 150 Ω
最大出力レベル	15 dBu

Speakers Out B + C

接続	端子
出力インピーダンス	最小 150 Ω
最大出力レベル	15 dBu

システムパラメータ

周波数特性	10 Hz~ 80 kHz ± 3 dB
音力	112 dB, 20 Hz~ 20 kHz
歪み率	0.005% 標準 @ +4 dBu
シグナルクローストーク	-75 dB @ 1 kHz
S/N	102 dBu @ +4 dBu A 重み

電源給電

電源接続	外部電源アダプタ、 9 V~, 750 mA
------	---------------------------

電源電圧

アメリカ / カナダ	120 V~, 60 Hz
イギリス / オーストラリア	240 V~, 50 Hz
中国	220 V~, 50 Hz
欧州	230 V~, 50 Hz
日本	100 V~, 50 - 60 Hz
消費電力	約 6 W

サイズ / 質

サイズ (高 x 幅 x 奥行)	約 48 x 242.6 x 120 mm
質	約 0,77 kg

BEHRINGER 社は製品の高品質保証に力を入れています。この仕様は改良するため予告なく変更することがあります。装置の仕様と略図は参考のみとしてください。

7. MINI シリーズの他の商品

MINIMON は BEHRINGER の Mini シリーズに属する商品です。該当シリーズに属する全ての 8 種類の商品が機能を果たせるため、簡単にご紹介させていただきます。

MINIFEX FEX800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" ステレオ・マルチエフェクト・プロセッサー

- リバーブ、ディレイ、コーラス、フランジャー、フェイザー、ロータリースピーカー、ピッチシフターおよびマルチエフェクトなどの 24-bit/48 kHz 分解能による究極の FX プリセット 16 種
- 選択したプログラムを LED で表示する直感的 FX プリセットコントロール

MINIAMP AMP800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" ヘッドフォン・アンプシステム

- 4 個の完全独立型ステレオ・ハイパワー・アンプセクション
- 大音 時にも最高品質の音響を維持

MINIMIC MIC800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" マイク・モデリング・プリアンプ

- あらゆるマイク、楽器、ラインレベルソースに対応するハイエンド・プリアンプ。スタジオ級のコンデンサーマイクを完全化
- 超フレキシブルなプリアンプモデリングにより、レコーディングの敏速最適化が可能に

MINIFBQ FBQ800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" グラフィックイコライザー

- 革命的な FBQ フィードバック検知システムが問題となる周波数を即座に検出し、オーディオアナライザーとしても機能
- 追加ローカットフィルターが耳障りな周波数(床音など)を除去

MINIMIX MIX800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" カラオケマシン

- 革命的なヴォイスキャンセラー。あらゆるステレオソースからヴォーカル音だけを効率的に消去
- 24-bit/40 kHz 分解能による内蔵型デジタル・エコー / リバーブプロセッサーで究極のヴォーカル強化を

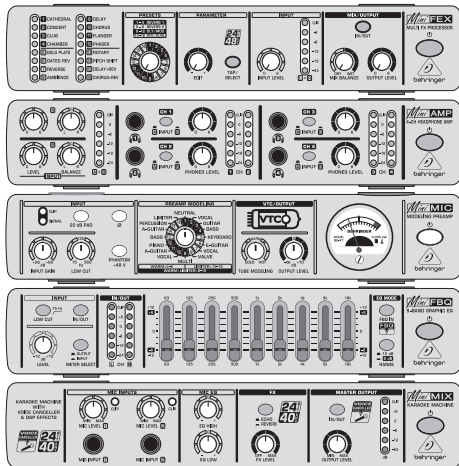


図 7.1: それぞれの MINI 製品が最高品質をお届けします



We Hear You